I·O DATA

Rシリーズ

取扱説明書

B-MANU200564-01

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●

金 沢／TEL.076-260-3646 FAX.076-260-3360
東 京／TEL.03-3254-1036 FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9：30～19：00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）

R100 古紙パルプ配合率 100% 再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK この取扱説明書はアメリカの大豆協会認定の環境に優しい大豆油インキを使用しています。

もくじ

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

呼び方

呼び方	説明
本製品	Rec-POT Rシリーズ
チューナー	デジタルチューナー、デジタルチューナー内蔵テレビ

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

危険、警告および注意事項

危険　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

マークの説明

記号	説明
	この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
	この記号は、禁止の行為を告げるものです。
	この記号は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠危険

分解禁止

修理・改造・分解はしない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有料修理となる場合があります。

禁止

電池で以下のことに注意する

液が漏れて、「けが」や「やけど」の原因となります。

- くぎを刺したり、分解・改造をしない
- 60℃以上の場所、車中で放置しない
- 定格条件以外では使わない
- 充電しない
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らさない
- 電子レンジ・高圧容器・オーブンに入れない
- （＋）（－）を金属類やはんだで短絡させたりしない
- （＋）（－）を逆に接続しない
- ネックレスやヘアピンなどの金属と一緒に持ち運ばない
- 投げる、ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えない
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わない

⚠警告

電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止する

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。

電源プラグを抜く

金属などの端面への接触

本製品の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。

電源プラグを抜く

内部に異物や液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら電源プラグを抜く

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードが傷むと、火災・感電・故障の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- ねじらない
- 熱器具のそばで使わない
- 重ねて使わない

禁止

装置内部へ異物をいれない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。

厳守

電源コードの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
  不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 長時間本製品を使わない場合は、電源プラグを抜いてください。

厳守

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使うと、火災や感電の原因になります。使う場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

厳守

電源プラグのほこりは定期的にそうじする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

厳守

電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。

禁止

通気孔をふさがない

本製品にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。
物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。

禁止

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。

禁止

コンセントや配線機器の定格を超えたり、交流 100V 以外で使わない

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

水濡れ禁止

水でぬらさない

水がかかったり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺・風呂場、シャワー室で使う際は特にご注意ください。
- 水などの入ったものを上に置かないでください。
  （コップ、花びん、植木鉢、化粧品や薬品容器など）

接触禁止

接触禁止

雷が鳴り出したら本製品やケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

禁止

落としたり破損した場合は使わない

火災や感電の原因になります。

厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従う

厳守

電池は、乳幼児の手の届かない場所に置く

電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、体や衣服に付くと、失明や「けが」、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき　⇒ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服に付いたとき ⇒ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症や「けが」の症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意

厳守

接続したままで移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コードや接続コードを外したこと確認してから移動させてください。

厳守

配線について

電源コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。

足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。

禁止

上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

本製品に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となることがあります。

※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。

禁止

本製品は下記のような場所で使わない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 熱器具の近く
- 振動や衝撃の加わるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 風通しの悪いところや狭いところ

厳守

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、「けが」や「やけど」の原因となります。

万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。

使用上のご注意

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

お手入れについて

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。

・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。

・化学ぞうきんを使う際は、その注意書きにしたがってください。

・お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電の原因となることがあります。

大切な録画は…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されている事を確認してください。

・本製品を使っているときに、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消えてしまう事があります。

記録された番組の互換性について

本製品に記録された番組は、記録したチューナーでご覧ください。
他のチューナーでは、再生できない場合があります。
また、本製品に記録された番組は、全てのチューナーで再生できることを保証されるものではありません。

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化の影響により、記録された映像が損なわれる場合がありますので、以下の点にご注意ください。

・ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。

・衝撃をあたえないでください。

・録画や再生中は電源プラグを抜かないでください。電源を切り、動作が完全に終了してから、電源プラグを抜いてください。

・ハードディスクに記録されたデータは保証されるものではありません。

著作権保護のための録画防止機能について

著作権保護のために、録画禁止の信号が付加されている放送や映像を録画することはできません。

著作権について

本製品で録画、録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使えません。

はじめに

特長

本製品は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をデジタル録画する i.LINK 接続ハードディスクレコーダーです。
ここでは、本製品の特長を簡単に紹介いたします。

デジタル放送をそのまま録画

本製品は、松下電器産業株式会社のデジタル家電用ハードディスク「AVHDD」を搭載しています。
i.LINKによるデジタル録画のため、現在最高の画質レベルで提供されているデジタルハイビジョン放送を高画質のまま劣化なしに録画できます。

	地上デジタル放送（HDレート）	BSデジタル放送（HDレート）
HVR-HD500R	約52時間	約42時間

※ 1タイトルの最長録画時間は12時間です。

ハードディスクならではの瞬間高速頭出し

高速なハードディスクを搭載することで、テープを使うD-VHSビデオデッキに比べてアクセススピードが飛躍的にアップ、瞬間高速頭出しを実現しました。

見たい番組を素早く探す

・録画した番組のリストから見たい番組を探し再生する事ができます。
【Rec-POTメニュー】(28ページ)
・専用リモコンによる早送り／早戻し（3/6/12/24/100倍速）、約30分飛ばして再生するスキップ機能を搭載しています。 【再生する】(41ページ)

番組をD-VHSビデオデッキにデジタル移動

本製品に録画した番組を、D-VHSビデオデッキに移動することができます。
【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(26, 44ページ)

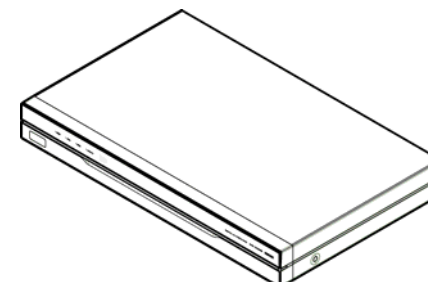
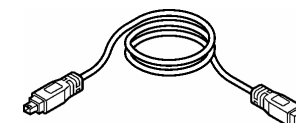
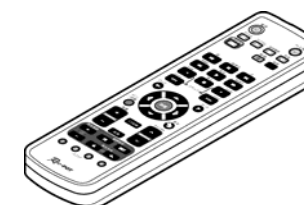
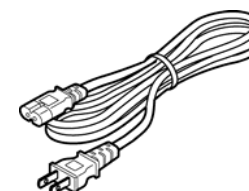
プレイリスト機能（編集機能）搭載

お気に入りのシーンだけを集めることができます。
録画した番組を見ながら範囲選択をして、他のRec-POTやD-VHSビデオテープへ移動することができます。 【番組を編集する】(45ページ)

i.LINKケーブル１本で簡単接続

i.LINK機器のため、i.LINKケーブル１本で簡単に接続することができます。

内容物を確かめる

ここでは、本製品の内容物をご案内します。

☑ Rec-POT Rシリーズ取扱説明書（1冊：本書）

□ Rec-POT Rシリーズ 製品別使用ガイド（1冊）

ユーザー登録をしてください

ユーザー登録は、以下のホームページで行えます。

http://www.iodata.jp/regist/

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。
シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。

※ シリアル番号(S/N)は、本製品の背面に貼られているシールに記載された12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

この取扱説明書のイラスト・画面について
実物と若干異なる場合があります。

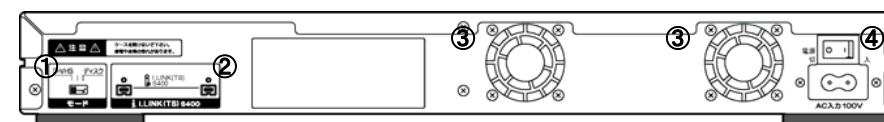
専用リモコンは、ディスクモードでは使いません
チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

各部の名称

ここでは、本製品の各部分の名称とその機能を説明します。

前面

番号	名称	説明
①	状態ランプ 電源　再生　録画　お知らせ	本製品の状態を表します。 ● 電源…………………………… 【電源状態について】(19ページ) 消灯：電源が入っていません。 オレンジ点滅：起動準備中です。 オレンジ：電源状態が「待機」になっています。 青：D-VHSモードで、電源状態が「ON」になっています。 紫：ディスクモードで、電源状態が「ON」になっています。 ● 再生 再生状況を表します。 緑：再生中／メニュー表示中です。 赤：プログラム移動中です。 オレンジ：プログラム再生中／プログラム保存中です。 消灯：再生していません。 ● 録画 録画状況を表します。 赤：録画中です。 緑：全番組削除モードになっています。 緑⇔赤点滅：全番組削除中です。 消灯：録画していません。 ● お知らせ 本製品の状態を表します。 消灯：ディスク残量は余裕があります。 緑：押したユニット番号ボタンに対応しています。 緑点滅：押したユニット番号ボタンに対応しています。 赤：ディスク残量が15%を切っています。 赤点滅：ディスク残量がないか、番組数が255個になっています。 緑⇔赤点滅：全番組削除モードになっています。
②	リモコン受光部	リモコン信号を受信します。 リモコンをお知らせランプの右側に向けて操作してください。 ※ リモコン受光部は、実際には見えにくくなっています。

背面

番号	名称	説明
①	モードスイッチ	本製品のモードを設定できます。　【モードを切り換える】(16ページ) D-VHS：本製品はD-VHSモードに設定されます。(初期設定) ディスク：本製品はディスクモードに設定されます。 ※ スイッチ中央は使いません。 スイッチ中央に設定しないでください。
②	i.LINK端子	i.LINKケーブルで、チューナーや他のi.LINK機器と接続します。
③	ファン	内部の温度上昇を防ぎます。
④	電源スイッチ	本製品の電源を入れます。

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます

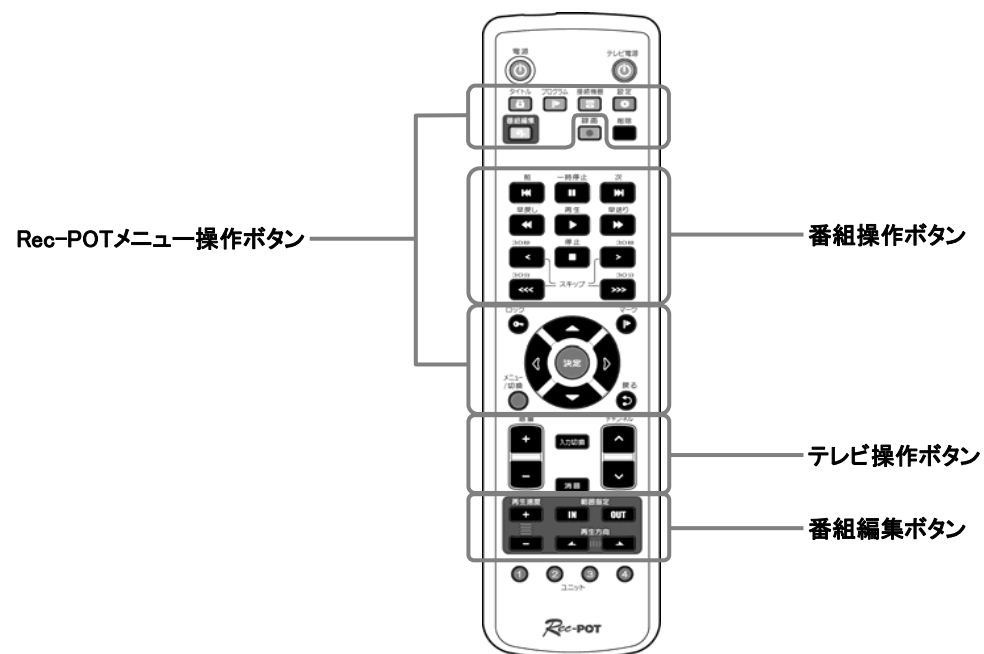
ディスクモードでお使いのときにディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えないでください。

D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

禁止

ファンの通風孔をふさいだり、異物を差し込んだりしない

内部の温度が異常に上がったり、ファンが破損して、故障の原因となります。

専用リモコン

名称	説明
[電源]ボタン	本製品の電源状態を切り換えます。　【電源状態について】（19ページ） ※ 番組の録画／再生中やRec-POTメニュー表示時には使えません。
[テレビ電源]ボタン	お使いのテレビの電源を入／切します。 【お手持ちのテレビを操作できるようにする】（21ページ）
[録画]ボタン	視聴中の番組を録画できます。　【録画する】（40ページ）
Rec-POTメニュー操作ボタン	Rec-POTメニューを操作するのに使うボタンです。 【Rec-POTメニュー】（28ページ）
番組操作ボタン	番組を再生しているときなどに使います。　【再生する】（41ページ）
テレビ操作ボタン	テレビの操作に使います。 【お手持ちのテレビを操作できるようにする】（21ページ）
番組編集ボタン	番組の編集に使います。　【番組を編集する】（45ページ）
ユニット番号ボタン	本製品を２～４台お使いの時、操作する本製品を選びます。 また、約2秒押すことで操作音のON/OFFを行います。 ※ Rec-POTメニューの操作音は、これに関係なく鳴ります。 【機器設定】（37ページ）

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません

チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

使えるようにしよう

モードを切り換える

まず、本製品をチューナーに合ったモードに設定します。
（出荷時に、本製品は D-VHS モードになっています。）

モード

本製品は、モードを切り替えることで動作が変わります。

■ ディスクモード

チューナーは、本製品を「外付けハードディスク」として認識します。
チューナーのリモコンだけで操作を行います。添付のリモコンから操作することはありません。
追っかけ再生などのチューナーが持つ機能は、このモードでのみ使うことができます。

■ D-VHSモード

チューナーは、本製品を「D-VHSビデオデッキ」として認識します。
添付のリモコンを使ってRec-POTメニューを表示したり、本製品の番組編集機能を行えます。

モードの切り換え方

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます
ディスク残量が1%以下の場合、ディスクモードからD-VHSモードに切り換えないでください。
D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

1 **本製品の電源が入っている場合は、切ります。**

【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

2 **お使いのチューナーが対応しているモードを確認します。**

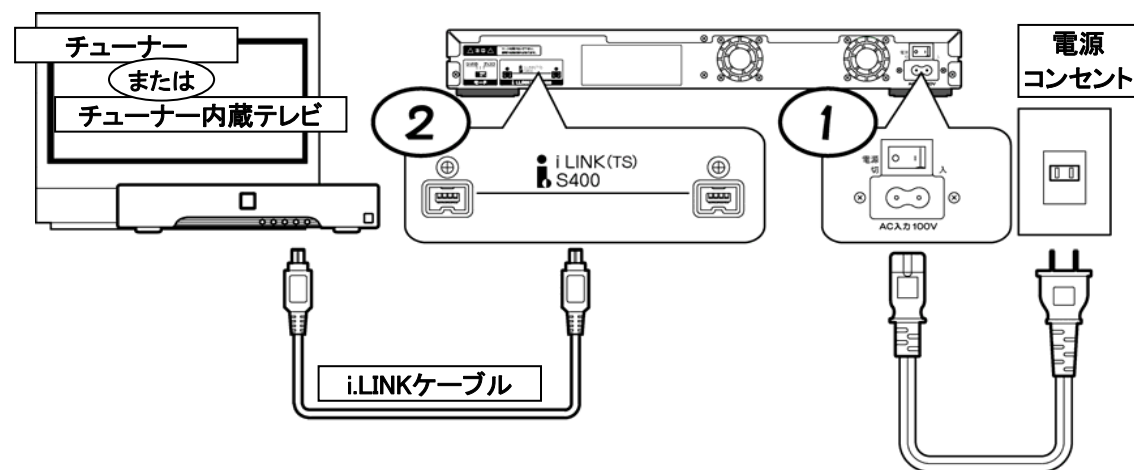
弊社Webページの対応表をご覧ください。対応表には以下の情報が記載されています。
・各チューナーが対応しているモード
・各チューナーでの制限情報

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/recpot/listr/

3 **モードを換える必要がある場合は、背面のモードスイッチを設定します。**

モードスイッチを中央に設定しないでください
本製品では、モードスイッチの中央は使いません。
モードスイッチは必ず「ディスク」か「D-VHS」に設定してください。

モードを切り換えた場合、チューナーへの登録を確認してください
【チューナーに登録する】(22ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

接続する

1 本製品をコンセントに接続します。

コンセントから取り外すときは・・・
必ず、本製品の電源を切ってから行ってください。
電源の切り方については、【電源を入れる／切る】(次ページ)をご覧ください。

2 お使いのチューナーと本製品を、添付のi.LINKケーブルで接続します。
他にi.LINK機器が接続されている場合は、その後に接続します。

どちらのi.LINK端子に接続してもかまいません
i.LINK端子はどちらも同じものです。どちらに接続しても問題なくお使いいただけます。

チューナー側で接続に注意・制限事項がある場合があります
チューナーの取扱説明書も同時に参照しながら、接続してください。

パソコンに接続しても使えません
本製品は、著作権保護機能に対応しており、録画された番組は暗号化されています。
そのため、パソコンと接続してお使いいただけません。あらかじめご了承ください。

添付のi.LINKケーブルを紛失された場合
S400対応のi.LINKケーブルをご購入ください。

ループ接続をしないでください
i.LINKでは、輪になるように接続すると正しく動作しません。
輪にならないように接続してください。

電源を入れる／切る

接続を終えたら、本製品の電源を入れてください。

電源を入れる／切る

電源は、背面の電源スイッチで入／切します。

電源操作	電源スイッチ	説明
入れる	入	電源が入ります。 本製品の前面にある電源ランプが点灯します。 青:D-VHSモード　電源状態「ON」 紫:ディスクモード　電源状態「ON」 本製品が使えるようになるまで、約20秒ほどかかります。
切る	切	必ず、電源状態を「待機」にしてから切ってください。 「待機」にせずに電源を切ると、録画情報が消えるなどの問題が発生するおそれがあります。

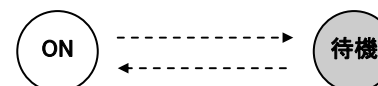
録画予約をしている時は、電源を切らないでください
本製品の主電源を切ってしまうと、録画予約などで自動的に本製品を起動できません。
そのため、録画予約などの失敗の原因となります。

電源状態について

電源状態には、「ON」「待機」の２つがあります。

状態	電源ランプ	説明
ON	青(D-VHSモード) 紫(ディスクモード)	再生、録画などをすることができます。
待機	オレンジ	専用リモコンの電源ボタンを押したり、チューナーから 予約録画の連絡が来ると、電源状態が「ON」になります。

電源状態の変化

専用リモコンの電源ボタンやチューナーからの操作で変化します。

専用リモコンの電源ボタンは下記の場合は使えません
・番組を録画／再生している
・番組を編集(45ページ)している
・Rec-POTメニュー(28ページ)を表示している

省電力機能
チューナーから認識されず、操作がない状態で約10分経過すると、本製品は「待機」状態になります。

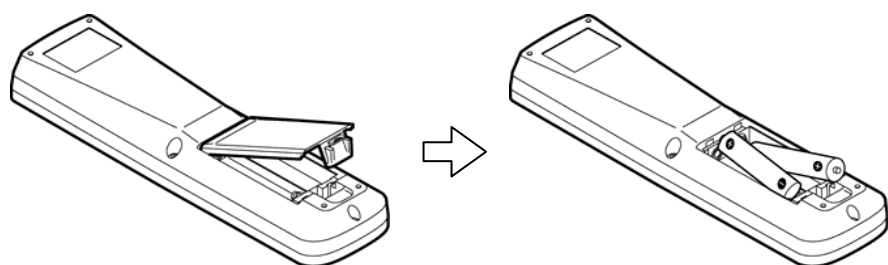
専用リモコンを準備する

専用リモコンに電池を入れる方法やテレビを操作できるようにする方法を説明します。

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません
チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

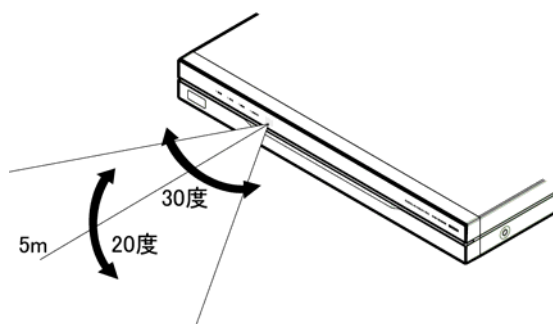
本製品2台を操作するための設定
本製品のメニューから行うことができます。
【機器設定】(37ページ)をご覧ください。

電池を入れる

下の図のように電池を入れてください。

以下のことにご注意ください
リモコンの動作不良および故障の原因となります。
また、【必ずお守りください】(3ページ)の内容もご覧ください。

- ・極性（＋，－）を逆にしない
- ・指定された電池（単3形乾電池）以外を使わない
- ・交換の際は、電池を2本とも交換する
- ・充電式電池を使わない

電池を入れ換えたときは、リモコンのテレビ操作を設定し直してください
電池を入れ換えると、リモコンのテレビ操作の設定が「松下-2」に戻ります。
【お手持ちのテレビを操作できるようにする】(21ページ)をご覧になり、設定してください。

専用リモコンの操作可能な範囲について
本製品のリモコン受光部より、距離は正面5m、左右に30度、上下に20度以内で操作してください。

お手持ちのテレビを操作できるようにする

リモコンで、お手持ちのテレビを操作できるようにします。

1 **下表を参考に、お手持ちのテレビに合うボタンを押します。**
⇒ リモコンが設定されます。これで、お手持ちのテレビを操作できるようになりました。

テレビのメーカー	押すボタン	テレビのメーカー	押すボタン
エプソン	テレビ電源 を押しながら 30秒 >	日本ビクター	テレビ電源 を押しながら ロック
三洋-1	テレビ電源 を押しながら 30秒 <	パイオニア	テレビ電源 を押しながら 30分 <<<
三洋-2	テレビ電源 を押しながら 停止 ■	日立	テレビ電源 を押しながら 早送り ▶▶
シャープ	テレビ電源 を押しながら ▲	松下-1	テレビ電源 を押しながら 次 ▶▶❙
ソニー	テレビ電源 を押しながら 一時停止 ❙❙	松下-2(初期設定)	テレビ電源 を押しながら 早戻し ◀◀
東芝	テレビ電源 を押しながら 再生 ▶	三菱	テレビ電源 を押しながら 30分 >>>

先にテレビ電源ボタンを押してください
テレビ電源ボタンを先に押すようにしないと、設定されません。

※ 本機のリモコンでは、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できないことがあります。
テレビに付属のリモコンをお使いください。

2 **リモコンでお手持ちのテレビを操作できるか、ご確認ください。**

ボタン	説明	ボタン	説明
テレビ電源	テレビの電源を入／切します。	入力切換	テレビの入力を切り替えます。
音量 ＋ －	テレビの音量を調節します。	消音	テレビを消音（ミュート）します。
チャンネル	テレビのチャンネルを選びます。		

テレビによっては、操作できないことや、一部ボタンを使えないことがあります

チューナーに登録する

本製品を使うには、「i.LINK 機器」としてチューナーに登録する必要があります。
通常は、本製品を接続するだけで登録されます。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、登録されているかどうかを確認しましょう。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

本製品は、下のように登録されます
ディスクモードの場合、本製品はハードディスクレコーダーとして動作します。
D-VHSモードの場合、本製品はD-VHSビデオデッキとして動作します。
モードによって、チューナーに登録される名前が異なります。

正しく本製品が登録されない
全てのi.LINK機器の登録を削除してください。

使ってみよう（ディスクモードの場合）

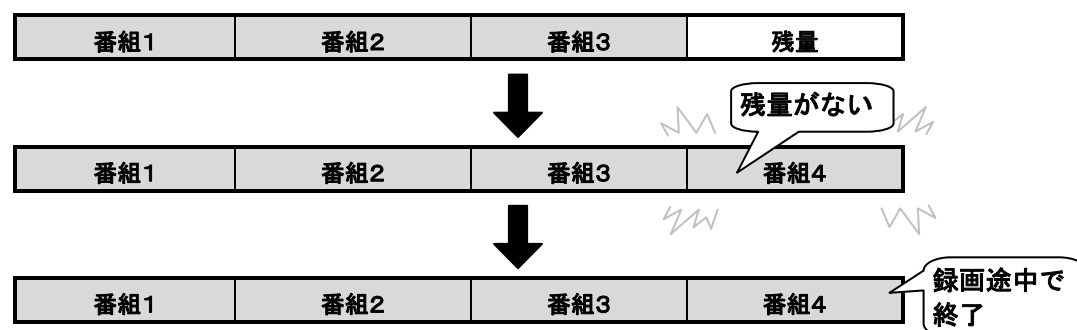
録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

録画の仕組み

録画するためには、本製品のディスク残量が必要です。

録画時間が短すぎると、正しく録画できない場合があります
正しく録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。
また、2分未満の録画では、正しいタイトルで記録されないことがあります。

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます
ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えないでください。
D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

録画できる時間の目安
下記の録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

地上デジタル放送
HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD500Rの場合：約52時間
BSデジタル放送
HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD500Rの場合：約42時間

録画の制限
・録画できる番組数は、最大255までとなります。
・1タイトルの最長録画時間は、12時間です。

ディスク残量が少ない場合
チューナー側の操作で不要な番組を削除してください。

再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の再生を行ってください。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

D-VHSビデオデッキに番組を移動する

本製品から D-VHS ビデオデッキへ番組を移動する方法について説明します。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

番組移動（ムーブ）機能があるチューナーの場合

チューナーの番組移動（ムーブ）機能を使って、番組を移動します。
各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組を移動してください。

番組移動（ムーブ）機能がないチューナーの場合

D-VHSモードで番組を移動する必要があります。
D-VHSモードに切り換えて、【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(44ページ)をご覧ください。
D-VHSモードに対応していないチューナーの場合は、作業を行えません。ご了承ください。

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます
ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えないでください。
D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

チューナーへの登録を確認してください
【チューナーに登録する】(22ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

使ってみよう（D-VHSモードの場合）

Rec-POTメニュー

本製品には、便利にお使いいただくための「Rec-POT メニュー」が搭載されています。

Rec-POTメニューはデータ放送番組として作られています

そのため、データ放送番組としてチューナーに受信されるまで数秒～十数秒かかります。
また、Rec-POTメニューの番組一覧に「メニューデータ」という番組が表示されます。
この「メニューデータ」は、Rec-POTメニューで操作することができません。

Rec-POTメニューを開く

専用リモコンの［タイトル］ボタンを押してください。
⇒Rec-POTメニューの「タイトルリスト」が表示されます。

ボタン	説明	
タイトル	Rec-POTメニューのタイトルリストを表示・閉じます。	
プログラム	Rec-POTメニューのプログラム再生/保存/移動を表示・閉じます。	
接続機器	Rec-POTメニューの接続機器設定を表示・閉じます。	
設定	Rec-POTメニューの機器設定を表示・閉じます。	
メニュー/切換	Rec-POTメニューを表示していない	Rec-POTメニューのタイトルリストを表示します。
	Rec-POTメニューを表示している	下記の順で、Rec-POTメニューを切り換えます。 →「タイトルリスト」→「プログラム再生/保存/移動」→「接続機器設定」→「機器設定」→
戻る	Rec-POTメニューを閉じます。	

メニューの表示、切り換えには時間がかかります

しばらくお待ちください。

リモコンが反応しない／Rec-POTメニューが表示されない

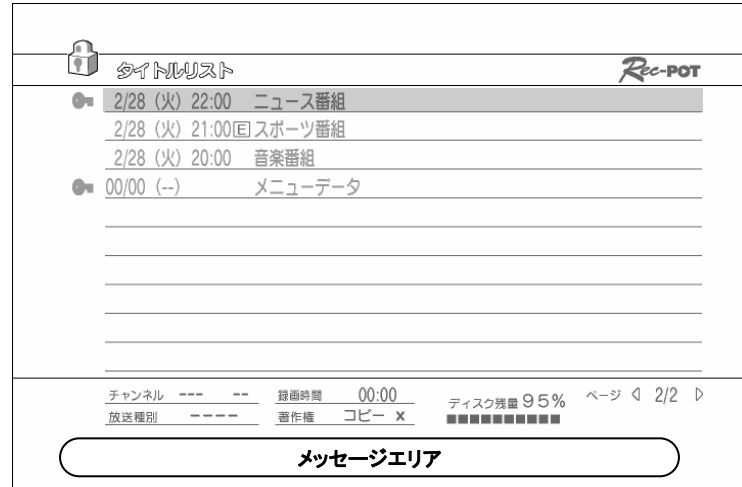
・本製品に設定されたユニット番号(37ページ)とリモコンの設定が違う可能性があります。
　ユニット番号ボタン（❶ ❷ ❸ ❹）を操作してみてください。
・チューナーによっては、i.LINK機器を使えるようにチューナーを設定してからでないと本製品が動作しないものがあります。
　【チューナーに登録する】(22ページ)の作業を行ってください。
・本製品がD-VHSモードではない可能性があります。
　【モードを切り換える】(16ページ)をご覧になり、お使いのモードをご確認ください。

Rec-POTメニューの種類

Rec-POTメニューには「タイトルリスト」,「プログラム再生/保存/移動」,「接続機器設定」,「機器設定」,「プレイリストモード」の５つがあります。
それぞれのメニューでできる操作が異なります。

メニュー	ページ	説明
タイトルリスト	次	録画した番組の再生や番組のロックを行います。
プログラム再生/保存/移動	32	録画した番組を好きな順番で再生、保存（ダビング）、移動します。
接続機器設定	34	本製品から保存や移動を行うi.LINK機器の設定を行います。
機器設定	37	本製品の設定を行います。
プレイリストモード	39	録画した番組の好きな部分だけを再生するようにします。

タイトルリスト

録画した番組の再生やロックを行います。

■ 番組一覧

項目	説明
ロック	番組がロックされている場合に表示されます。 【番組を保護する［ロック］】（42ページ）
録画開始日時	番組の録画開始日時を表示します。
編集済マーク	番組が編集されている場合に表示されます。　【番組を編集する】（45ページ）
タイトル	番組のタイトルを表示します。

■ 情報

項目	説明
チャンネル	番組のチャンネルと放送画質（SD:デジタル標準画質／HD:デジタルハイビジョン画質）を表示します。
録画時間	番組の総時間を表示します。 ※ 編集された番組(45ページ)も、編集前の時間が表示されます。
放送種別	番組の放送種別を表示します。 ＢＳデジタル：BSデジタル放送 １１０度ＣＳ：110度CSデジタル放送 ＣＳデジタル：スカイパーフェクＴＶ！ 地上デジタル：地上デジタル放送 ーーーー：不明な放送種別
著作権	番組の著作権情報を表示します。 コピー ○：コピー・移動を行えます。 コピー △：コピー可能な本編の前後に、コピー不可能な番組が含まれています。そのため、コピーすることができません。移動のみ行えます。 コピー ×：移動のみ行えます。
ディスク残量	ディスク残量がどれくらいあるかを表示しています。 番組をロックするたびに減っていきます。
ページ	現在のページ／全体のページ数を表示します。
メッセージエリア	問題があったとき、画面下部にメッセージを表示します。 【Rec-POTメニューメッセージ】（53ページ）

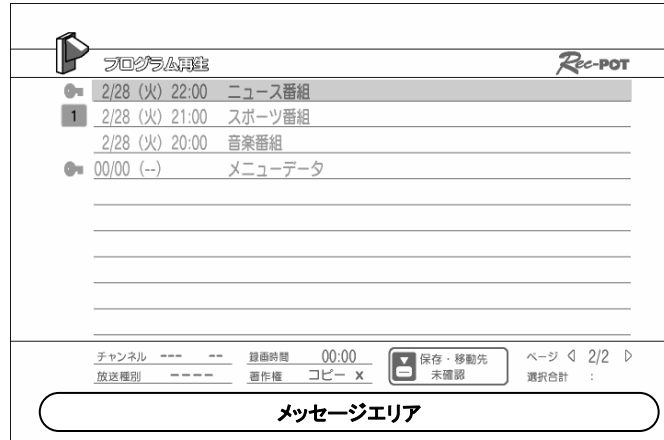
再生　【再生する】(41ページ)

削除　【番組を削除する】(41ページ)

ロック（保護）　【番組を保護する[ロック]】(42ページ)

編集　【番組を編集する】(45ページ)

プログラム再生/保存/移動

録画した番組を好きな順番で再生、保存（ダビング）、移動します。

プログラム再生／保存／移動
プログラム再生　マークされた順に、番組を再生するメニューです。
プログラム保存　マークされた順に、番組をD-VHSビデオデッキに保存（ダビング）するメニューです。
プログラム移動　マークされた順に、番組をD-VHSビデオデッキに移動するメニューです。

プログラム再生／保存／移動の切り換え
機器設定のプログラムモード時の動作で行います。【機器設定】(37ページ)をご覧ください。

■ 番組一覧

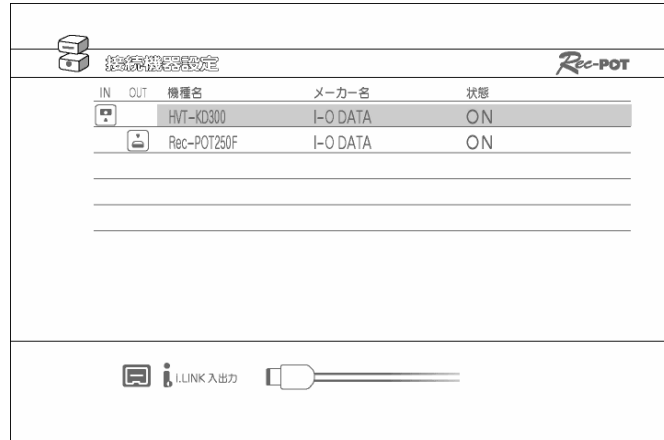
項目	説明
マーク	番組がマークされた順に再生／保存／移動が行われます。 マークは、最大１６個まで付けることができます。 1　プログラム再生時に表示されます。　【再生する】(41ページ) 1　プログラム保存時に表示されます。 1　プログラム移動時に表示されます。 【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(44ページ)
ロック	番組がロックされているかどうかを表示します。ここではロックできません。 「プログラム移動」以外でマークとロックが重なった場合、表示されません。 【番組を保護する［ロック］】(42ページ)
録画開始日時	番組の録画開始日時を表示します。
編集済マーク E	番組が編集されている場合に表示されます。　【番組を編集する】(45ページ)
タイトル	番組のタイトルを表示します。

■ 情報

項目	説明
チャンネル	番組のチャンネルと放送画質（SD:デジタル標準画質／HD:デジタルハイビジョン画質）を表示します。
録画時間	番組の総時間を表示します。 ※ 編集された番組(45ページ)も、編集前の時間が表示されます。
放送種別	番組の放送種別を表示します。詳細は、31ページをご覧ください。
著作権	番組の著作権情報を表示します。詳細は、31ページをご覧ください。
接続機器情報	設定された接続機器を表示します。 保存（ダビング）／移動は接続機器に行われます。　【接続機器設定】(34ページ)
ページ	現在のページ／全体のページ数を表示します。
選択合計	マークした番組の再生時間を合計した時間が表示されます。 また、プログラム再生が繰り返されるかどうかを表示します。 最後まで再生すると、そこで再生を停止します。 最後まで再生すると、頭から再生を繰り返します。
メッセージエリア	問題があったとき、画面下部にメッセージを表示します。 【Rec-POTメニューメッセージ】(53ページ)

プログラム再生　【再生する】(41ページ)
プログラム移動　【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(44ページ)

接続機器設定

i.LINK機器の設定を行います。

■ 機器一覧

機器は、最大５台まで表示されます。

項目	説明
IN	入力用に設定された機器の左に表示します。
OUT	保存／移動用に設定された機器の左に表示します。
機種名	機器の名称を表示します。
メーカー名	機器のメーカー名を表示します。
状態	機器の電源状態を表示します。

入力機器と出力機器

入力機器と出力機器は、それぞれ１台ずつ設定できます。
ハイビジョンカメラの映像を保存・書き戻す場合は、その都度切り換えてください。

入力機器　本製品に映像を入力する機器を設定します。
通常は、チューナーを設定してください。

出力機器　本製品から番組を出力する機器を設定します。
D-VHSモードのRec-POT、D-VHSビデオデッキなどを設定できます。

チューナーが認識できる機器の台数にご注意ください

Rec-POTメニューの接続機器設定に表示される機器は最大５台ですが、チューナーが認識できる機器の台数により、さらに表示される機器の台数が少なくなることがあります。
チューナーが認識できる機器の台数については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

■ 接続機器を設定する

本製品から番組を保存／移動する機器を、「接続機器」と呼びます。

1 機器を接続します。

① 機器の電源を入れます。
② 本製品と機器を接続します。

表示される接続機器

- 出力機器になるもの
  - ・D-VHSビデオデッキ　・D-VHSモードのRec-POT
  - ・HDVカメラ
- 入力機器になるもの
  - ・テレビ、チューナー　・HDVカメラ
- その他（表示されますが、操作できません。本製品と同時につながないでください。）
  - ・DVカメラ

HVR-HD80, HVR-HD120S, HVR-HD240Sを、D-VHSモードのRec-POTとして設定する

HVR-HD80, HVR-HD120S, HVR-HD240Sをモード 3 にしてください。
D-VHSモードのRec-POTとして認識されます。

接続にご注意ください

【接続する】（18ページ）をご覧になり、機器の接続を行ってください。

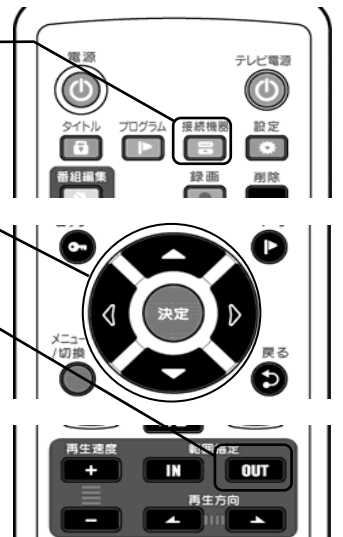
2 Rec-POTメニュー「接続機器設定」を表示します。

専用リモコンの［接続機器］ボタンを押します。

3 出力機器を選びます。

カーソルボタンでカーソルを移動します。

4 出力機器を設定します。

［OUT］ボタンを押します。
⇒接続機器が設定されました。
選んだ機器のOUT欄に が表示されます。
この機器に保存／移動が行われます。

5 **入力機器を選びます。**

カーソルボタンでカーソルを移動します。

6 **入力機器を設定します。**

［IN］ボタンを押します。

⇒接続機器が設定されました。

　選んだ機器のIN欄に が表示されます。

　この機器からの映像が録画されます。

機器設定

本製品の設定を行います。

■ 設定

項目	説明
録画時のオートロック	［ON］にすると、録画した番組が自動的にロックされます。 【番組を保護する［ロック］】(42ページ)
メニュー画面オートOFF	［３分］にすると、３分間操作を行わないとメニューが閉じられます。
早送り･早戻し動作設定	［早送り］［早戻し］ボタンを押した時の動作を設定します。 ［可変］：3～100倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。 詳しくは、次ページの参考をご覧ください。 ※ チューナーによっては、スピード変化時に画面が止まったり、映像がカクカクする場合があります。 その場合、［×12］［×24］に設定してください。 ［×12］：12倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。 ［×24］：24倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。
番組編集の結果を反映する	［ON］にすると、編集結果が有効になり、編集済マーク（E）が表示されます。
ユニット設定	複数の本製品をお持ちの場合に、リモコンを使い分けるために設定します。色が付いている番号のユニット番号ボタンで操作できます。 設定は、メニューを閉じた後で有効になります。 初期設定では、どのユニット番号ボタンを押しても操作できるように、すべての番号に色が付いています。

項目	説明
ファン動作モード	内部を冷やすファンの動作を設定します。 番号が大きくなるほど、冷却効果は高くなり、ファンの動作音は大きくなります。通常は、「１」でお使いください。 ※ ファンの動作は内部温度によりON/OFFされるため、内部温度が低い場合はファンが動作しません。
プログラムモード時の動作	プログラム再生/保存/移動でどの操作を行うかを設定します。
プログラム再生時の繰り返し設定	［ON］にすると、プログラム再生時に最後まで再生した時に先頭から繰り返して再生するようになります。 ※「プログラムモード時の動作」が［再生］の時のみ表示されます。

早送り・早戻し動作設定[可変]時の動作

それぞれ3、6、12、24、100倍の5段階でスピードが変化します。

・早送り中に［早送り］ボタンを押す、または早戻し中に［早戻し］ボタンを押すたびに、スピードが増していきます。

・早送り中に［早戻し］ボタンを押す、または早戻し中に［早送り］ボタンを押すと、それぞれ押したボタンに対応した状態の3倍スピードとなります。

・途中で再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

ボタン	スピード					
	通常再生	▶▶3倍	▶▶6倍	▶▶12倍	▶▶24倍	▶▶100倍
▶▶	▶▶3倍	▶▶6倍	▶▶12倍	▶▶24倍	▶▶100倍	▶▶100倍
◀◀	◀◀3倍					
▶	通常再生					
	通常再生	◀◀3倍	◀◀6倍	◀◀12倍	◀◀24倍	◀◀100倍
▶▶	▶▶3倍					
◀◀	◀◀3倍	◀◀6倍	◀◀12倍	◀◀24倍	◀◀100倍	◀◀100倍
▶	通常再生					

プレイリストモード

番組の編集を行います。
タイトルリストで番組を選んで、リモコンの［番組編集］ボタンを押すことで、この画面になります。

項目	説明
録画時間	番組の録画時間を表示します。
プレイリスト	プレイリストを表します。 作成されたプレイリストは、数字が黄色くなります。 プレイリストは、最大１０個まで登録できます。
画面	番組の映像を表示します。
シークステータス	現在の再生状態を表します。
合計再生時間	確定したプレイリストの時間を合計したものを表示します。
IN ～ OUT	プレイリストの開始点と終了点を表示します。
再生位置	画面に表示されている映像の再生位置を表示します。
シークバー	再生している位置やプレイリストの位置を表示します。 ････再生している位置です。 ･･･確定したプレイリストです。 IN ･････選択されたプレイリストの始点です。 OUT ･････選択されたプレイリストの終点です。

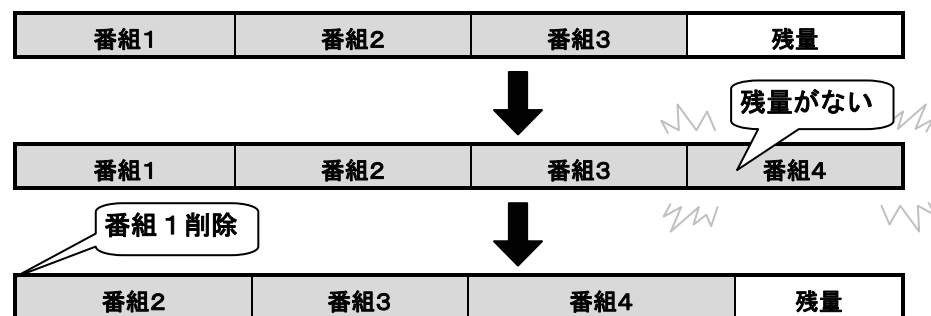
編集　　【番組を編集する】(45ページ)

録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作 か リモコンの［録画］ボタンで行います。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

録画の仕組み

録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えた場合、古い番組から順に削除していきます。

録画時間が短すぎると、正しく録画できない場合があります
正しく録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。
また、2分未満の録画では、正しいタイトルで記録されないことがあります。

録画できる時間の目安
下記の録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

地上デジタル放送
HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD500Rの場合：約52時間
BSデジタル放送
HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD500Rの場合：約42時間

録画の制限
・録画できる番組数は、最大255までとなります。
・1タイトルの最長録画時間は、12時間です。

現在録画中の番組は削除されません
ディスク残量が無くなったので、番組先頭から上書きされるということはありません。
録画を続けられなくなったら、本製品は録画を終了します。

削除されたくない番組を保護する
【番組を保護する［ロック］】(42ページ)をご覧ください。

再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作 か Rec-POT メニューの操作で行います。
Rec-POT メニューでは、番組を選んで再生する通常の再生と、再生する順番を選んでから連続で再生する「プログラム再生」を行えます。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

番組を削除する

本製品に録画した番組を削除する方法を説明します。

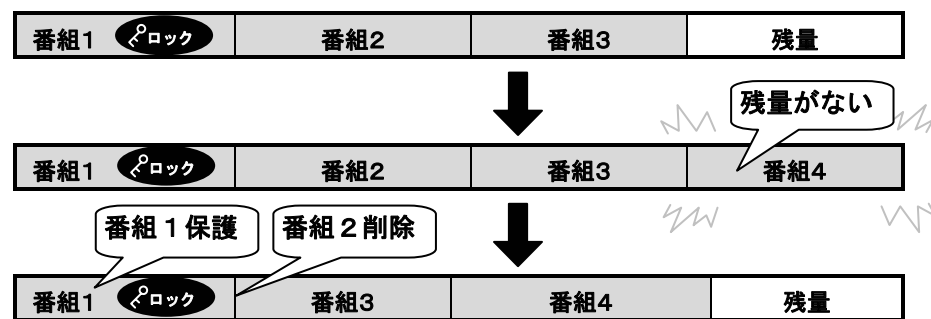
製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

番組を保護する[ロック]

録画された番組を削除されないように保護することができます。
番組を削除されないようにすることを、「番組をロックする」と言います。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

ロックの仕組み

番組をロックすると、その番組は削除されなくなります。
削除される順番が来た場合も、ロックされた番組はとばされます。

番組をロック／解除する

操作については、製品別使用ガイドをご覧ください。

今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能）

Rec-POTメニューの「機器設定」で設定します。
【機器設定】(37ページ)をご覧ください。

番組をロックすると、ディスク残量が減ってしまいます
多くの番組をロックすると、Rec-POTメニュー「タイトルリスト」右下に表示されるディスク残量が少なくなります。ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

OFFにしても、すでにロックされた番組がロック解除されるわけではありません
オートロック機能のOFFと、すでにロックされた番組は関係ありません。
番組のロックを解除したい場合は、【番組をロック／解除する】(前ページ)または【全ての番組のロックを解除する】(本ページ下)の作業を行う必要があります。

全ての番組のロックを解除する

1 **本製品が再生／録画していないことを確認します。**
本製品前面の再生ランプと録画ランプが消灯していることを確認します。

2 **[ロック]ボタンを約5秒押し続けます。**
⇒ピッと音がし、ロック解除が開始されます。
もう一度ピーッと音がしたら、全ての番組のロックが解除されました。

D-VHSビデオデッキに番組を移動する

本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組移動操作は、Rec-POT メニュー「プログラム移動」で行います。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

先頭部分を移動できない場合があります
D-VHSビデオデッキ側のテープスピードにより、先頭部分が録画されない場合があります。

番組の移動に失敗すると、番組が消えてしまう、分割されてしまうなどの問題が発生します
番組を移動する際は、十分注意して作業を行ってください。
また、番組の移動が完了すると、本製品から番組は削除されることにご注意ください。

移動とは？
番組をD-VHSビデオデッキに移し替える方法です。ただし、本製品からその番組は消えてしまいます。

D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合
D-VHSビデオデッキからは移動中の番組を見ることはできません。

D-VHSビデオデッキから本製品への移動はできません
本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオデッキに保存されている番組を本製品に移動することはできません。

移動にかかる時間
移動する番組を再生するのと同じだけ時間がかかります。ご了承ください。

移動できない番組
・スカイパーフェクTV！の「コピー ×（△）」となっている番組
・ロックされた番組 【番組を保護する［ロック］】(42ページ)

番組を編集する

「プレイリスト機能」を使って、お気に入りのシーンだけを再生する方法を説明します。

プレイリスト機能のあらまし

「プレイリスト機能」とは、録画した番組をプレイリストモードにして画面を見ながら始点、終点を決め、お気に入りのシーンなど、録画した番組の中にある一部分の映像（プレイリスト）だけを集めることができるものです。
不要なシーン以外のお好みのシーンを選び、D-VHS ビデオデッキやもう一台の Rec-POT へ移動すれば、オリジナルコレクション作りに活用することもできます。

容量が減ることはありません
プレイリスト機能では、番組の再生する部分を設定できます。これによって番組の容量が減ることはありません。容量を減らしたい場合は、プレイリストを設定した番組をプログラム保存/移動することでプレイリスト部分だけの番組にしてください。

一部のソニー製チューナーをお使いの場合
スカイパーフェクＴＶ！の番組は編集できません。

プレイリストを作ってみよう

録画した番組から不要なシーンを除いて再生するように設定します。
また[番外]では、編集した番組を移動して容量を減らす手順も案内しています。

製品別使用ガイドをご覧ください
製品別に操作例が記載されています。

ハイビジョンカメラと連携する

本製品は、HDV 対応の i.LINK 搭載ハイビジョンカメラをつなぐことで、ハイビジョンカメラの映像を本製品に保存したり、その番組をハイビジョンカメラに書き戻したりできます。

対応しているハイビジョンカメラを確認してください

お手持ちのハイビジョンカメラが本製品との連携に対応しているかどうかを、弊社Webページ対応表でご確認ください。

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/recpot/listr/

※ DVカメラと本製品は連携できません。ハイビジョンカメラ（HDVカメラ）のみ対応です。

カメラの映像を保存する

ハイビジョンカメラで録った映像を、本製品に保存することができます。
本製品に保存した後は、通常の番組と同様に再生することができます。

製品別使用ガイドをご覧ください

製品別に操作例が記載されています。

映像をカメラに書き戻す

カメラの映像を本製品に保存した後、必要でしたら映像をカメラに書き戻すことができます。
本製品に映像を貯めておいて、他の人に渡したいときにカメラに書き戻すといった使い方ができます。

製品別使用ガイドをご覧ください

製品別に操作例が記載されています。

カメラから保存した映像のみ書き戻せます

通常のテレビ番組などをカメラに書き戻すことはできません。

付録

全ての番組を削除する

本製品に記録されている全ての番組を削除します。

ロックされている番組も削除されます
全ての番組を削除してよいかどうかご確認ください。

全ての番組を削除する操作

1 本製品の電源を切ります。

【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

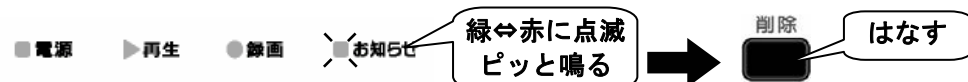
2 本製品をD-VHSモードに切り換えます。

【モードを切り換える】(16ページ)をご覧ください。

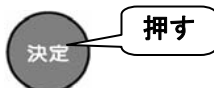
3 [削除]ボタンを押したままにします。

4 本製品の電源を入れます。

電源の入れ方については、【電源を入れる／切る】(19ページ)をご覧ください。

5 お知らせランプが緑⇔赤に点滅し、ピッと鳴ったら、[削除]ボタンをはなします。

6 録画ランプが緑色に点灯するまで待ちます。

7 [決定]ボタンを押します。

⇒ ピピッと鳴り、全ての番組の削除が開始されます。
削除中は、録画ランプが緑⇔赤に点滅します。
ピーッ と鳴ったら、削除は完了です。

困った時には

本製品をお使いになり、問題が発生した場合にご覧ください。

電源が入らない	**●電源コードは電源コンセントに接続されていますか？** 電源コードを電源コンセントに接続してください。
操作できない	**●電源ランプは点灯していますか？** 電源コードを電源コンセントに接続してから、本製品が完全に起動する（電源ランプが青または紫に点灯）まで約20秒かかります。
専用リモコンで操作ができない	**●専用リモコンの電池は消耗していませんか？** 新しい電池と交換してください。　【電池を入れる】(20ページ) **●電池の極性（＋，－）は正しいですか？** 電池を正しく入れてください。　【電池を入れる】(20ページ) **●本製品に向けて操作していますか？** 本製品のリモコン受光部（お知らせランプの右辺り）に向けて操作してください。 **●ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？** 本製品を複数台お使いの場合は、製品ごとにユニット番号を設定します。対応したユニット番号ボタンを押してから、操作してみてください。 **●本製品はD-VHSモードですか？** ディスクモードでは専用リモコンを使えません。
専用リモコンの操作で複数のRec-POTが動作してしまう	**●ユニット番号を設定しましたか？** 本製品を複数台使う場合は、ユニット番号を機器設定で変更してください。　【機器設定】(37ページ)
本製品に手を触れると熱い	**●本製品はハードディスクの放熱のため、上面、側面および背面は温度が高くなります。** 品質、性能には問題ありません。 本製品を風通しの良い場所に設置してください。 また、本製品の上に物を置いたり、他の機器の上に本製品を置いたりしないでください。

Rec-POTメニューが表示されない

●**ユニット番号ボタンを正しく操作していますか?**
本製品を複数台お使いの場合は、製品ごとにユニット番号を設定します。
対応したユニット番号ボタンを押してから、操作してみてください。

●**i.LINKケーブルは正しく接続されていますか?**
添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●**チューナーに本製品を登録・認識していますか?**
【チューナーに登録する】(22ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
また、チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。
チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。

●**番組を録画していませんか?**
番組の録画中に専用リモコンでの操作はできません。

●**チューナーの電源は入っていますか?**
Rec-POTメニューはチューナーの機能を使って番組として表示されます。
本製品を使うときは、チューナーの電源を入れてください。

●**モードスイッチはD-VHSモードになっていますか?**
「D-VHSモード」になっていることを確認してください。
※ モードを切り替える際は、必ず本製品の電源を切ってください。
【モードを切り換える】(16ページ)

●**番組データががおかしくなっている可能性があります**
記録されている番組データが異常になっている可能性があります。
一度本製品に記録された全番組を削除してみてください。
【全ての番組を削除する】(48ページ)

全ての番組を削除してもメニューが表示されない場合は、本製品の動作異常の可能性があります。
弊社の修理センターへ製品検査をご依頼ください。

Rec-POTメニューがちらつく

●**本製品を接続したチューナーによっては、Rec-POTメニューが若干ちらつきます。**
チューナー固有の問題です。ご了承ください。

録画/予約録画ができない

●**i.LINKケーブルは正しく接続されていますか?**
添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●**コピーガードされた番組を録画しようとしていませんか?**
コピーガードされた番組は録画できません。チューナーのメールをご覧ください。

●**チューナーに本製品を登録・認識していますか?**
【チューナーに登録する】(22ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
また、チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。
チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。

●**チューナーは正しく設定されていますか?**
対応表をご覧になり、チューナーの設定が必要ないかをご確認ください。

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/recpot/listr/

番組を削除できない

●**削除したい番組はロックされていませんか?**
ロックされた番組は削除できません。ロックされている場合は、解除してください。　【番組を保護する[ロック]】(42ページ)

番組を編集したのに、編集された内容で再生されない

●**編集結果が反映されるように設定されていますか?**
設定によって、編集結果の反映をON/OFFできます。
機器設定(37ページ)を開き、「番組編集の結果を反映する」をONにしてください。

番組を移動（MOVE）できない

●**i.LINKケーブルは正しく接続されていますか？**

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●**移動先のD-VHSビデオデッキは、接続機器として設定されていますか？**

D-VHSビデオデッキを接続機器として設定していないと、ダビングは行えません。 【接続機器を設定する】（35ページ）

●**移動したい番組はロックされていませんか？**

ロックされた番組は移動できません。ロックされている場合は、解除してください。 【番組を保護する［ロック］】（42ページ）

●**移動先のD-VHSビデオデッキをチューナーが使っていませんか？**

チューナーがD-VHSビデオデッキを使っていないこと、i.LINKに関する画面を開いていないことを確認してください。

チューナーが移動先のD-VHSビデオデッキを使っている（Linc状態）場合、本製品からD-VHSビデオデッキを認識できません。また、チューナーのi.LINKに関する画面を開いている場合、D-VHSビデオデッキに対して信号が出ている場合があります。

●**移動先のD-VHSビデオデッキの録画スピードは正しいですか？**

D-VHSビデオデッキによっては、録画スピードを正しく判別できないことがあります。

D-VHSビデオデッキの取扱説明書をご覧になり、D-VHSビデオデッキに録画モード（スピード）の設定があるときは、「HS」などに設定してください。

Rec-POTメニューメッセージ

Rec-POT メニューで表示されるメッセージと、その意味を説明します。

■ **録画された番組がありません。**
本製品に番組が記録されていません。

■ **番組がロックされているため消去できません。**
ロックされている番組を消去しようとしたときに表示されます。

■ **メニューデータのロックは解除できません。**
「メニューデータ」のロックを解除しようとしたときに表示されます。
「メニューデータ」はRec-POTメニューを表示するためのデータですので、ロックの解除はできません。

■ **マークできる番組は 16 個までです。**
マークできる最大数16個を超えてマークしようとしたときに表示されます。

■ **マークされた番組がありません。**
番組を1つもマークせずに、[決定]ボタンを押したときに表示されます。

■ **再生(PLAY)を開始しました。**
プログラム再生を開始したときに表示されます。

■ **保存(COPY)を開始しました。**
プログラム保存を開始したときに表示されます。

■ **移動(MOVE)を開始しました。**
プログラム移動を開始したときに表示されます。

■ **マークされた番組にコピー禁止の番組が含まれています。**
プログラム保存を開始したときに、コピー×やコピー△の番組が含まれていた場合に表示されます。

■ **機器リストがまだ取得できていません。**
プログラム保存/移動を開始したとき、まだ機器リストが取得できていない場合に表示されます。
しばらくお待ちになってから、再度開始してください。

■ **保存先が選択されていません。**
プログラム保存/移動を開始したとき、接続機器がまだ設定できていないか、見つからないときに表示されます。
【接続機器を設定する】(35ページ)をご覧になり、設定を行ってください。

■ **保存先の電源が入っていません。**
プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキの電源が入っていない場合に表示されます。

■ **テープが入っていないか、書き込み保護されたテープです。**
プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキにテープが入っていないか、テープに書き込むことができない場合に表示されます。

■ **保存先が動作中です。**
プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキが動作している場合に表示されます。

他の機器がすでに使用中です。
プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキが他の機器(チューナーなど)に使われている場合に表示されます。

保存先の録画動作を開始できませんでした。
プログラム保存/移動を開始したとき、D-VHSビデオデッキが本製品からの命令を受け付けない場合に表示されます。
コピー ○の番組は、プログラム再生中に他の機器で録画することにより保存してください。
コピー ×および△の番組は、D-VHSビデオデッキに対して保存および移動を行えません。

移動できない番組が含まれているため、移動(MOVE)を開始できません。
プログラム移動を開始したとき、マークした番組の中に移動できない番組が含まれていた場合に表示されます。

ロックされた番組が含まれているため、移動(MOVE)を開始できません。
プログラム移動を開始したとき、マークした番組の中にロックされた番組が含まれていた場合に表示されます。

警告:バスリセット発生のため、保存(COPY)に失敗した可能性があります。

警告:バスリセット発生のため、移動(MOVE)に失敗した可能性があります。
前回のプログラム保存/移動中にバスリセットが発生し、保存/移動に失敗した可能性があります。
【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(44ページ)をご覧になり、問題が発生しないようにご注意ください。

警告:保存先の停止のため、保存(COPY)に失敗した可能性があります。

警告:保存先の停止のため、移動(MOVE)に失敗した可能性があります。
前回のプログラム保存/移動中に、接続機器の電源が切られたり、D-VHSビデオデッキが停止された場合に表示されます。

保存(COPY)が中断されました。

移動(MOVE)が中断されました。
プログラム保存/移動中に、専用リモコンの[停止]ボタンを押した場合に表示されます。

録画を開始しました。
機器操作画面で、カメラの映像を保存しているときに表示されます。

入力機器がチューナのため、正しく録画できない場合があります。
機器操作画面で、入力機器にカメラではなくチューナーを設定している状態で、[録画]ボタンを押したときに表示されます。

帯域がたりないため、録画を開始できません。
機器操作画面で、カメラの映像を保存するときに、他の機器がi.LINKを使っている場合に表示されます。
他の機器を取り外してからやり直してください。

入力機器とリンクできないため録画を開始できません。
機器操作画面で、カメラとリンクできないときに表示されます。カメラをご確認ください。

録画できるストリームが流れていません。
機器操作画面でカメラの映像を保存しようとする際、カメラから映像が送られてこないときに表示されます。
カメラを再生状態にしてください。

録画を停止しました。
機器操作画面でカメラの映像を保存しようとする際、録画を開始できなかったとき、または、エラーにより中断されたときに表示されます。

書き戻し再生を開始しました。
機器操作画面で映像をカメラに書き戻しする際に表示されます。1分以内にチューナー側のi.LINKケーブルを取り外してください。

書き戻し再生を開始できませんでした。
「書き戻し再生を開始しました。」と表示された後、1分以内にチューナー側のi.LINKケーブルを取り外さなかった場合に表示されます。

仕様

製品名	デジタルハイビジョン対応 ハードディスクレコーダー Rec-POT R
型式	HVR-HD500R
HDD容量	500Gバイト
インターフェイス	i.LINK(2系統)　4ピン S400 DTCP対応
対応ストリーム	MPEG2-TS
ストリーム処理能力	HDストリーム対応(28.3Mbps)
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	動作時　21W 待機時　8W
外形寸法	430(W) × 267(D) × 50(H) mm ※ 脚部、突起物は含まず。
質量	約3.8kg
環境条件	温度 動作範囲　5～35℃ 保存範囲　-20～60℃ 湿度 動作範囲　20%～80%（結露のないこと） 保存範囲　5%～90%（結露のないこと）

索引

A－Z

あ行

か行

さ行

た行

は行

ご意見･ご質問はこちら

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターで受け付けています。

電話

■ **電話番号**　**金沢（本社）　076-260-3646**
　　　　　　　東京　03-3254-1036

■ **受付時間**　**9:30 ～ 19:00（土・日曜／祝祭日は除く）**

FAX

■ **FAX番号**　**金沢（本社）　076-260-3360**
　　　　　　　東京　03-3254-9055

インターネット

インターネットをご覧いただける場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

■ **ホームページ**　**http://www.iodata.jp/support/**

お知らせいただく事項
1. お使いのチューナー名。
2. 他にお使いになっているi.LINK機器。
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
（画面の表示やメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■ 内部のデータについて

・検査の際に、内部のデータは全て消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

■ お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■ 修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■ メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■ これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

■ 修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■ 修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

HVR-HD500R 取扱説明書
2006.05.10 B-MANU200564-01
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地